

進んであいさつしよう 「きもちのよい あいさつ」

小学校第1学年 学級活動

1 題材設定の理由

- (1) 活動内容・項目
 - (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 基本的な生活習慣の形成
- (2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 特別活動編

＜第2章第2節 特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義＞より引用

小学校への入学当初においては、幼児期の自己中心性がかなり残っており、学校の中の児童相互の関係は、個々の児童の集合の段階にある。さらには、言ってよいことと悪いことについては理解できるようになるが、感情的な言動等が多く、入学後に小学校生活や集団生活にうまく適応できなかつたり、このことによって授業が成立しにくい状況が生まれたりすることなども考えられる。しかしながら、幼稚園教育要領の「人間関係」の領域などの教育や社会性を育む幼児期の教育では、友達との関わりを通して、互いの思いや考えなどを共有し、実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げることもできるようになっている。そのため、第1学年については、幼児期の教育で養われた力を生かしながら、小学校における生活や人間関係に適応できるようにすることが大切である。

第1学年後半になると、教師を中心とする学級への所属感や一体感があらわれ始める。しかしながら、社会性に関する個の発達の違いは大きく、グループで活動する児童も多く見られる一方で、他者と関わるよりも一人で過ごしたい児童や他者との関わりを苦手とする児童もいる。また、グループで活動する際、他者の気持ちや感情を理解しようとする児童もいる一方で、自己中心的な関わりをする児童もいる。

2 指導目標

「きもちのよいあいさつ」を体験することで、あいさつを交わすことの心地よさを味わい、進んであいさつしようとする態度を養う。

3 指導法・指導上の留意点

本時では、ソーシャルスキルトレーニングを授業に取り入れ、「きもちのよいあいさつ」を体験させることで、日常生活にあいさつを定着させることをねらう。今回行う「きもちのよいあいさつ」では、どんなあいさつがよいあいさつかをモデリングを通して考えさせ、さらにその場で実際に練習するソーシャルスキルトレーニングを取り入れることで、学級のよりよい人間関係づくりのきっかけとしていきたい。さらに事後指導の「友達と関わる学習」に取り組みさせることで、日常生活の中で進んであいさつをしようとする態度を養っていく。

4 指導計画

- (1) 事前・事後指導
 - ＜事前指導＞ (なし)
 - ＜本時＞ 学級活動「きもちのよいあいさつ」の授業を実施する。
 - ＜事後指導＞ 「友達と関わる学習」を実施する。
- (2) 教科指導等との関連
道徳：内容項目ー9 礼儀
気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること

5 本時の指導
(1) 指導過程

本時のねらい		「きもちのよいあいさつ」はどんなあいさつかを考え、あいさつの練習をすることで、進んであいさつしようという意欲を高める。		
段階	展開	活動の内容	指導上の留意点	【評価】・ ◇資料
導 入	アイスブレイク 【10】	(1)「四つの窓」をする。	○教室の四隅に4色を掲示し、その中から自分が好きな色を示している場所へ移動させる。その後、どうしてその色を選んだのかを理由を話し合わせ、同じグループの友達や全体で共有し、相互理解を深める。	◇掲示物 (四つの窓 あか・あお ・きいろ・ みどり)
	課題把握 【5】	(2)本時のめあてを設定する。 きもちのよいあいさつは、どういけばよいのかな？	○あいさつは、ただ言えよいいのではなく、どんなふうに言うことが相手を気持ちよくさせるのかを考えさせ、本時のめあてを設定する。	
展 開	モデリング 【5】	(3)教師のモデリングを見る。 ・下を向いたあいさつは、元気がなく声が聞こえない ・笑顔のあいさつは、うれしい気持ちになるな	○教師が2種類のあいさつのモデリングを行い、言われたときの相手の気持ちを話し合わせる。 ○「下を向き元気がないあいさつ」と「視線を合わせ、にこっとえがおのあいさつ」の違いを考えさせる。	
	リハーサル 「きもちのよいあいさつの練習をする。」 【15】	(4)「きもちのよいあいさつ」の練習を行う。 ①となりの人とあいさつする。 ②「きもちのよいあいさつ」はどんなあいさつか確かめる。 ・元気に ・はっきり ③もう一度「きもちのよいあいさつ」をする。 ④2種類の引いたカードを使って、いろいろなあいさつをする。 ・いろいろなあいさつができて楽しいな ・明日は、握手をしながらあいさつしようかな	○ペアであいさつをさせる。 ○ペアで交代しながら「元気に」「はっきり」に気をつけ、あいさつの練習をさせる。 ○上手にできるペアを見つけて、みんなの前で発表させる。 ○「きもちのよいあいさつ」をするとどのような気持ちになったか話し合わせる。 ○だれと(となりの人・班の人・となりの班の人・クラスの人)、どんな(握手・手をふる・おじぎ・片手ハイタッチ・両手ハイタッチ・名前をよんで)あいさつをするか、2種類のカードを引かせ、練習させる。	【評価1】 ◇2種類のカード
終 末	振り返り 【10】	(5)本時の活動を振り返る。	○児童一人一人に本時の学習活動を振り返らせるため、振り返りカードへの記入の時間を十分にとった後で、全体での振り返りを行う。	◇振り返りカード 【評価2】

(2) 評価計画

【評価1】	【評価2】	【評価3】
知識・技能 ＜本時＞	思考力・判断力・表現力等 ＜本時＞	学びに向かう力・人間性等 ＜友達と関わる学習＞
気持ちのよいあいさつはどのようなあいさつか、体験的に理解する。	あいさつをしたり相手からあいさつを返されたりしたときの気持ちについて、振り返ることができる。	きもちのよいあいさつを今後の生活でも生かそうとしている。

(3) 準備物

- ・ 掲示物（四つの窓 あか・あお・きいろ・みどり）
- ・ 2種類のカード（掲示用）
- ・ 振り返りカード

(4) 板書計画

きもちのよいあいさつは、
どういえばよいのかな？

<p>あいさつのたつじん げんきよく はっきりと 大きな声で 人よりさきに あいての目を見て</p>	<p>だれと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">となりの人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">はんの人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">となりのはんの人</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">クラスの人</div>	<p>どんな</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">あくしゅ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">手をふる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">おじぎをする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">かた手ハイタッチ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">りょう手ハイタッチ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">なまえをよんで</div>
---	---	---

6 事後指導（友達と関わる学習）

(1) ねらい

帰りの会で、きもちのよいあいさつができたかどうか「あいさつチャレンジカード」に記入させることで、進んできもちのよいあいさつができるようにさせる。

(2) 場所

教室

(3) 時間

毎回5分程度

(4) 学習計画

本時で学習した、きもちのよいあいさつの日常化を図るために、「あいさつチャレンジカード」を使用して自己評価をする。 【評価3】

(5) 準備物

- ・「あいさつチャレンジ」カード
- ・「あいさつチャレンジ」振り返りカード